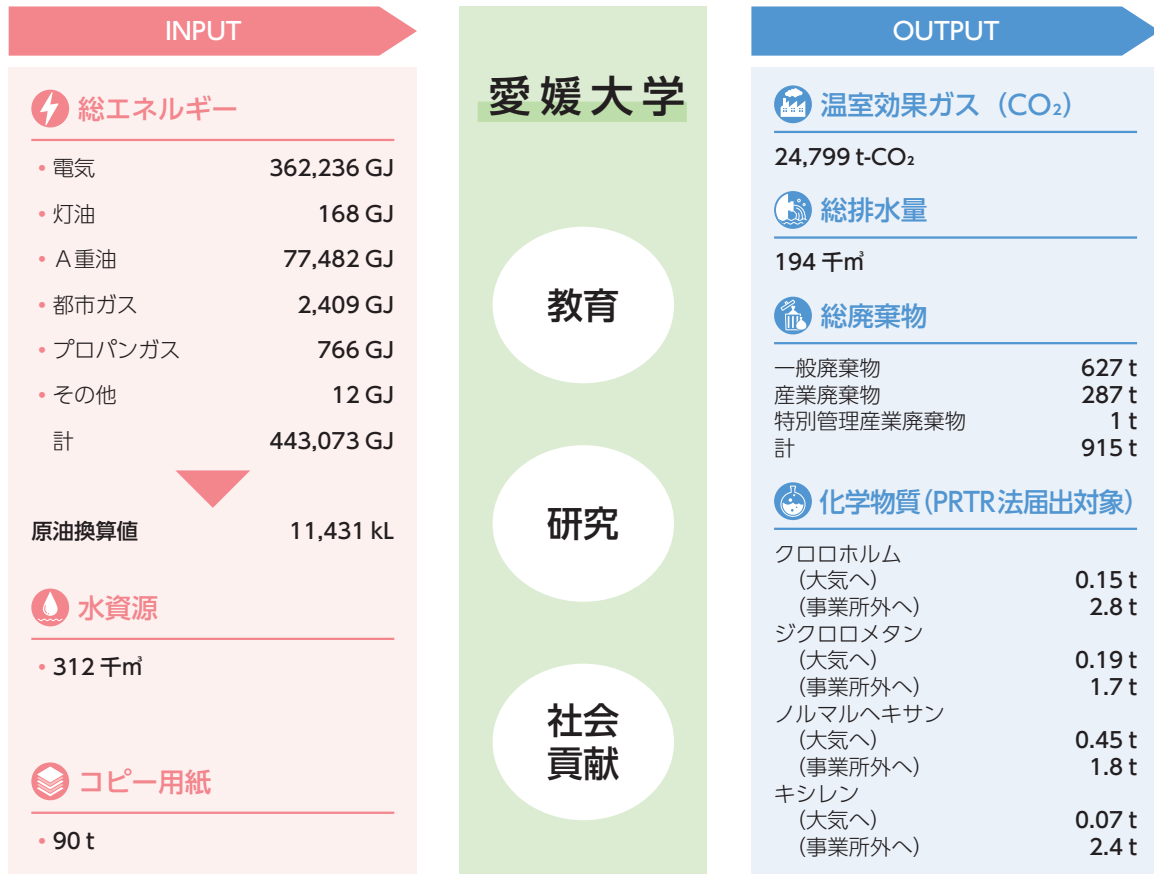




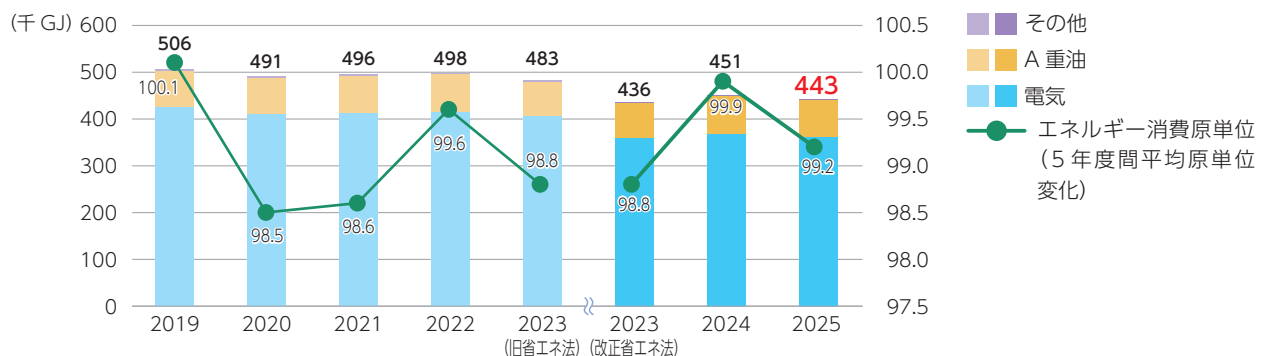
環境負荷低減

マテリアルバランス

愛媛大学は教育・研究・社会貢献等の活動により生じる環境負荷を把握し、環境に与える影響を分析することでさらなる省エネルギーや温室効果ガスの低減等に取り組んでおります。その取り組みの結果、サステナブルな地域社会の構築に貢献できる大学を目指します。



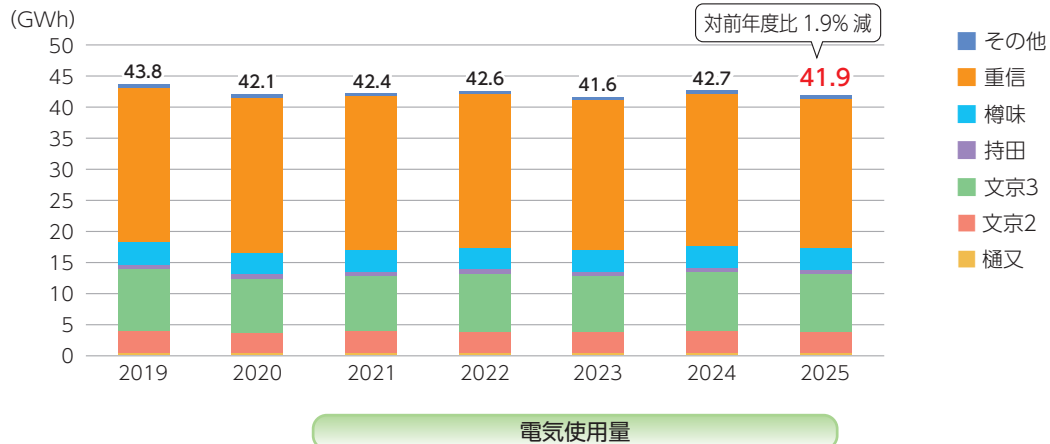
エネルギー使用量



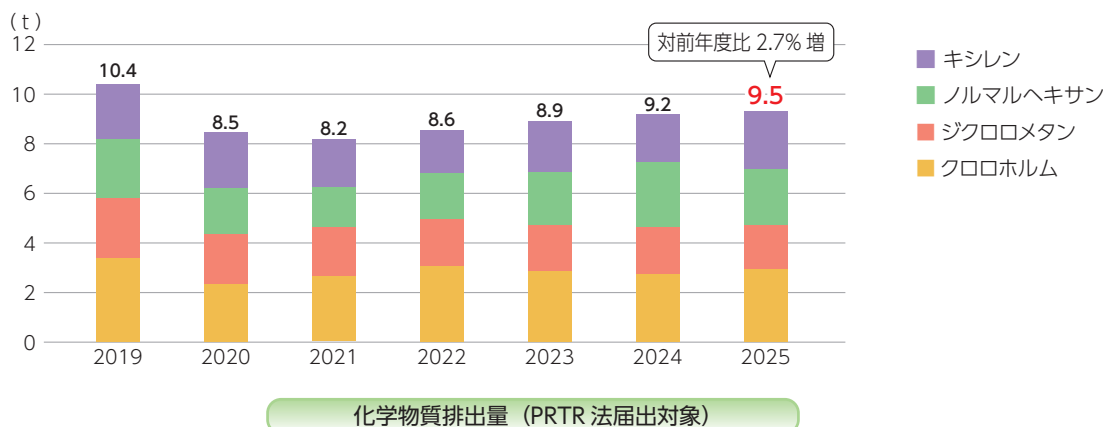
エネルギー使用量とエネルギー消費原単位の推移

※2023年度以降、省エネ法の改正に伴ってエネルギー換算係数が変更となった値を適用しております。
例：電気9.76MJ/kWh → 8.64MJ/kWh

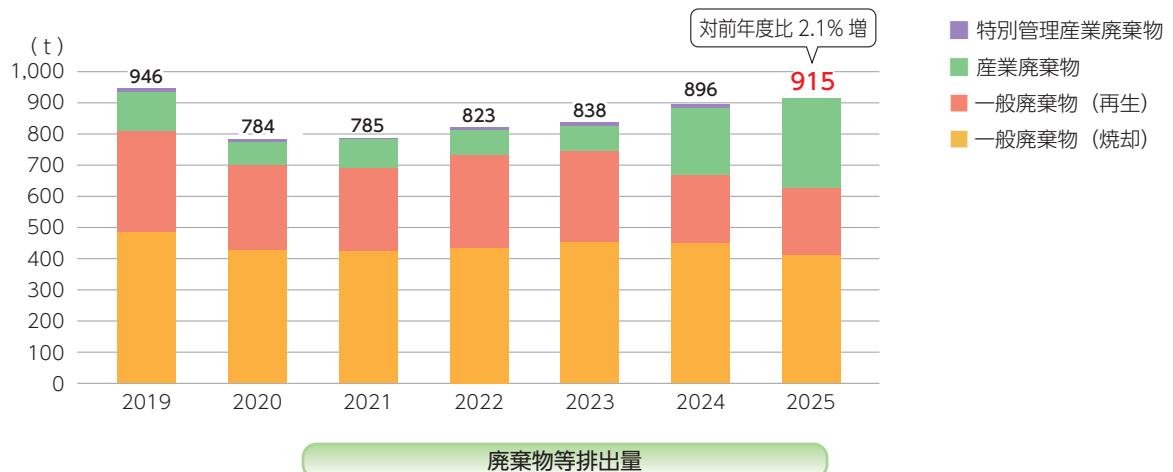
電気使用量



化学物質排出量（PRTR 法届出対象）



廃棄物等排出量

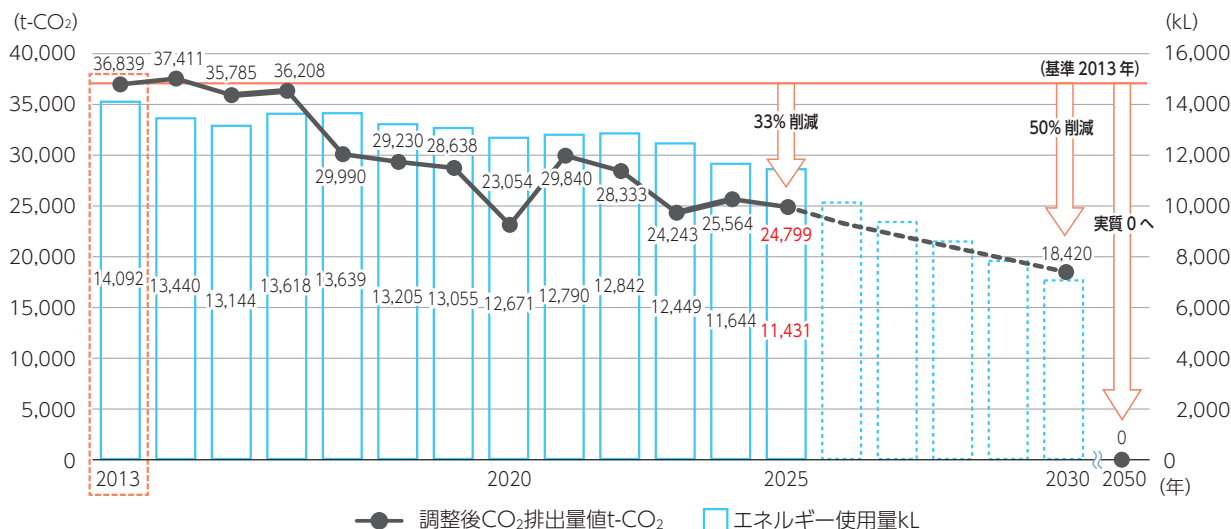


2050年カーボンニュートラルに向けて

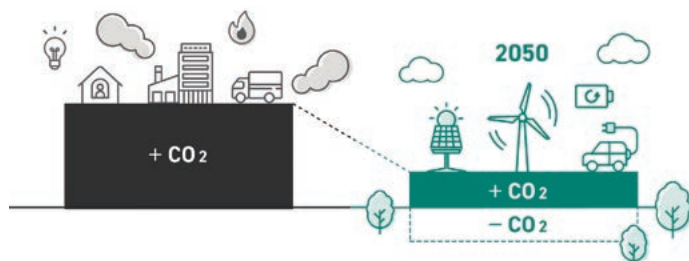
本学は、高効率機器への更新や建物断熱化等の施設整備と日々の省エネの取組等によりエネルギー使用量を削減し、2050年までにカーボンニュートラル^{※1}達成を目指しています。

2025年度のCO₂排出量は、24,799t-CO₂で2013年度より33%減となりました。これは2013年度と比べるとエネルギー使用量の削減効果に加え、本学の電力供給事業者である四国電力(株)の排出係数が改善されたことも要因です。

※1 カーボンニュートラルとは温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味します。



愛媛大学全体におけるエネルギー使用に係るCO₂排出量の推移表



カーボンニュートラルの概念図^{※2}

※1、2 出典：環境省ホームページ（https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/）

省エネ対策工事

主な省エネ対策工事としてLED照明、高効率空調設備への更新を実施しております。



LED照明への更新



LED照明への更新



高効率空調設備への更新

温室効果ガスの排出削減に関する実施項目の進捗状況

愛媛大学では、「政府実行計画」およびその実施要領に準じて、温室効果ガス排出削減のための具体的な取り組みを定めた計画「国立大学法人愛媛大学がその事務および事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画」を策定しています。その計画に関する実施項目の目標および2026年3月時点での進捗状況は以下の通りです。

1. 太陽光発電の導入

2030年度には設置可能な建築物(敷地を含む。)の約50%以上に太陽光発電設備を設置することを目指す。
→現状7.8% (8棟/103棟 95kW)

2. 新築建築物の ZEB 化

今後予定する新築事業については原則 ZEB Oriented 相当以上とし、2030年度までに新築建築物の平均で ZEB Ready 相当となることを目指す。

→現状0%（0棟 / 2棟）

3. 電動車の導入

本学の公用車については、代替可能な電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）がない場合等を除き、新規導入・更新については全て電動車とする。
 →現状33%（29台/87台）

4. LED 照明の導入

既存設備を含めた本学の LED 照明の導入割合を2030年度までに100%とすることを目指す。
→現状51%

5. 再生可能エネルギー電力の調達

2030年度までに本学で調達する電力の60%以上を再生可能エネルギー電力とすることを目指す。
→現状0%

